

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校
第18号
R5.11.29(水)

志願者状況

10月三者懇談時に進路希望調査を提出してもらいました。同時に京都府全域の中学生3年生の希望を調査していくそれを集計したものを配布します。自分の志望校にどれだけの希望者がいるのか確認しておきましょう。

ただし、この資料は府内全域の中学生が見ている資料です。「自分の志望する学校に希望者が多いため変更しようかなあ」、「希望者が少ないからこの学校にしようかなあ」といった考え方を持つ人もいるかもしれません、その気持ちちはみんな同じです。しかし今回の進路希望はお家の人や担任の先生と相談し、自分で確固たる思いで決めた希望先です。この情報を元に、一時の感情だけで進路先を変更することはやめておきましょう。もちろんこれを見て、悩んだり、不安になったりしてしまう事はあると思います。そんな時はお家の人や担任の先生に相談するようにしましょう。進路希望（受験校）の決定は12月懇談（約3週間後）の時です。定期テストも終わり、自分の成績を見るまでは落ち着かないかもしれませんが限られた時間を有効に活用しましょう。

◎進路希望状況について

配付した資料について少し解説をしておきます。

京都府内には来年3月に21,919人の卒業生予定者（現在の中学生3年生）がいます。その中で11月10日時点で高等学校に進学を希望する生徒が21,598人。現時点での第一希望として京都府公立高校進学を考えている生徒が全日制11,628人（53.0%）、定時制462人（2.1%）います。この資料からはさまざまな憶測ができますが自分勝手な想像（特にマイナス面で捉える人が多いと思いますが）をしたところで、その想像から確かな答えを導き出す事はできません。これをもとに色々な情報が交錯するとは思います、不確かな情報に惑わされないようにしましょう。

☆願書を書いてみよう（練習）

今週の金曜に願書（公立中期選抜のコピーを使って）の練習書きをしてもらいます。私学入試や大学入試でもWeb出願の機会が増えており、文字を書く機会が減っています。しかし氏名、生年月日、住所、保護者名等は楷書で正確に書けるようにしておきましょう。特に願書は人物よりも先に高校の先生に見ていただく書類になります。書いた文字によって相手に与える印象が変わってきます。日頃から丁寧な文字を書くように心掛けましょう。

（※実際の願書（Web願書含む）は12月の懇談以降に準備に掛かります。）

次号の羅針盤でお伝えします。）

併せて、面接練習も年明けから始まります。教室に置いてある過去問には目を通していますか。定期テストが終わり、一息つきたい時期ではあるかもしれません、受験（受検）への準備に取り掛かりましょう。義務教育の期間もあとわずかです。自らの進路を切り拓くため、自分で行動するようにしてみましょう。もちろん分からぬ事は、先生に相談してくださいね。

進路より

今日、府内の中学3年生全員がこの資料をもらっているよ。

これを見て、「定員が割れている学校なら受かるかも」とみんなが同じことを考えるよ。

それよりも懇談で決めた大事な進路だから、安易に変更しようとしないでおこう。

とにかく自分の行きたいところに向けて頑張って勉強しよう。

もし不安や迷いがあったら担任の先生に相談してね。